



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年11月10日

上場会社名 高田機工株式会社

上場取引所 東

コード番号 5923 URL <http://www.takadakiko.com>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 竇角正明

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 西尾和彦

TEL 06-6649-5100

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日 平成29年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	7,660	0.3	263	17.7	341	17.5	300	41.5
29年3月期第2四半期	7,685	45.2	223		290		212	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	136.56	
29年3月期第2四半期	96.50	

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	23,656	16,842	71.2
29年3月期	26,112	16,321	62.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 16,842百万円 29年3月期 16,321百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		2.00		3.00	5.00
30年3月期		3.00			
30年3月期(予想)				30.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は3円00銭となり、1株当たり年間配当金は6円00銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	9.2	600	25.9	680	15.3	600	22.6	272.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	2,237,586 株	29年3月期	2,237,586 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	34,012 株	29年3月期	33,927 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	2,203,613 株	29年3月期2Q	2,203,989 株

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想)

当社は、平成29年6月28日開催の第88期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金 第2四半期末 3円00銭(注1)  
期末 3円00銭(注2)

2. 平成30年3月期の業績予想

1株当たり当期純利益 通期 27円22銭

(注1) 第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払われます。

(注2) 株式併合考慮前に換算した配当額であります。

(注3) 平成30年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)予想は6円00銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
3. 補足情報 .....	6
売上及び受注の状況 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、不安定な海外情勢の影響を受けながらも、輸出の回復や底堅い国内需要から企業収益が好調に推移し、雇用所得環境の改善を背景に個人消費も堅調な推移が見られるなど着実に回復基調を辿りました。

当業界におきましては、橋梁事業では発注の早期化が実施されたことで当第2四半期累計期間の発注量は前年同四半期を上回る結果となりました。第3四半期以降にも大型案件の発注予定はあり、年間でも前事業年度を上回る発注量が期待されます。鉄構事業では鉄骨需要は極めて堅調であり、年間では前事業年度を上回る発注量が見込まれます。地域別には「首都圏一極集中」が継続しており、東京五輪に向けて繁忙状態が続くと思われまます。また五輪以降もまだ大型再開発案件や物流倉庫等の出件が予定されております。

このような状況のもとで当社は、橋梁事業では更に応札案件を絞り込み、技術提案の内容強化と入札価格の精度向上を継続することで受注量の確保に努めてまいりました。この結果、堅調に推移した第1四半期に続き、第2四半期にも国土交通省の関東地方整備局から「行徳橋」、中部地方整備局から「飛島大橋左岸」と2件の大型案件を受注することができ、橋梁事業の受注高は前年同四半期を大きく上回りました。一方、鉄構事業では、関西圏には超高層ビル等の受注目標となる案件は少なく、首都圏での受注確保を目指しました。しかしながら目標案件の受注確定には至らず、前年同四半期を下回る結果となりました。第3四半期以降も、首都圏での目標案件の年内受注確定に向けて鋭意営業努力を続けてまいります。

損益面につきましては、進捗の滞った工事が発生したことで、完成工事高は前年同四半期をわずかに下回りました。しかしながら、工場製作・現場架設ともに概ね順調に推移し、金融収支も改善、特別損失の発生もなかったことから、営業利益、経常利益、四半期純利益はすべて前年同四半期を上回る結果を残すことができました。

当第2四半期累計期間の業績は、売上高7,660百万円(前年同四半期比0.3%減)、営業利益263百万円(前年同四半期比17.7%増)、経常利益341百万円(前年同四半期比17.5%増)、四半期純利益300百万円(前年同四半期比41.5%増)であります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、23,656百万円で前事業年度末比2,456百万円の減少となりました。その主な要因は現金預金及び受取手形・完成工事未収入金の減少によるものであります。負債は、前事業年度末比2,977百万円減少し、6,813百万円となりました。主な要因は短期借入金の減少と未成工事受入金金の増加によるものであります。純資産は利益剰余金とその他有価証券評価差額金の増加により、前事業年度末比520百万円増加し、16,842百万円となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金預金	3,028,202	1,369,051
受取手形・完成工事未収入金	10,843,850	9,756,588
未成工事支出金	380,125	389,762
材料貯蔵品	16,205	18,070
その他	138,794	74,000
貸倒引当金	△33,590	△30,190
流動資産合計	14,373,588	11,577,283
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物・構築物	4,312,896	4,313,083
減価償却累計額	△3,384,483	△3,410,339
建物・構築物(純額)	928,413	902,743
機械・運搬具	4,282,812	4,256,492
減価償却累計額	△3,681,476	△3,669,520
機械・運搬具(純額)	601,336	586,972
土地	5,497,508	5,497,508
その他	859,938	856,381
減価償却累計額	△798,795	△793,112
その他(純額)	61,142	63,268
有形固定資産合計	7,088,400	7,050,492
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	15,549	13,468
その他	8,840	8,819
無形固定資産合計	24,390	22,288
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	3,816,030	4,235,025
従業員に対する長期貸付金	33,652	31,290
前払年金費用	282,191	276,679
その他	564,034	531,404
貸倒引当金	△69,325	△68,380
投資その他の資産合計	4,626,583	5,006,019
固定資産合計	11,739,374	12,078,800
資産合計	26,112,963	23,656,083

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	3,306,639	3,127,057
短期借入金	4,800,000	1,600,000
未払法人税等	122,117	66,835
未成工事受入金	553,905	1,080,389
賞与引当金	157,735	166,660
役員賞与引当金	23,000	—
工事損失引当金	187,696	76,830
その他	232,211	192,174
流動負債合計	9,383,305	6,309,948
固定負債		
繰延税金負債	260,372	346,384
退職給付引当金	127,029	136,727
その他	20,743	20,743
固定負債合計	408,145	503,855
負債合計	9,791,451	6,813,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,178,712	5,178,712
資本剰余金	4,608,706	4,608,706
利益剰余金	5,939,645	6,174,482
自己株式	△142,307	△142,546
株主資本合計	15,584,756	15,819,354
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	736,755	1,022,925
評価・換算差額等合計	736,755	1,022,925
純資産合計	16,321,511	16,842,279
負債純資産合計	26,112,963	23,656,083

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
完成工事高	7,685,530	7,660,121
完成工事原価	6,897,173	6,821,296
完成工事総利益	788,356	838,824
販売費及び一般管理費		
役員報酬	69,396	73,578
従業員給料手当	204,140	207,036
賞与引当金繰入額	44,015	45,705
退職給付引当金繰入額	20,783	17,669
通信交通費	33,707	35,288
雑費	192,351	195,956
販売費及び一般管理費合計	564,393	575,234
営業利益	223,962	263,590
営業外収益		
受取利息	5,696	5,406
受取配当金	56,739	58,741
その他	27,710	40,818
営業外収益合計	90,146	104,966
営業外費用		
支払利息	9,315	8,577
支払手数料	6,430	6,355
その他	7,449	11,663
営業外費用合計	23,195	26,596
経常利益	290,913	341,960
特別損失		
固定資産売却損	13,323	—
投資有価証券評価損	31,478	—
特別損失合計	44,802	—
税引前四半期純利益	246,111	341,960
法人税、住民税及び事業税	38,531	42,701
法人税等調整額	△5,121	△1,686
法人税等合計	33,410	41,014
四半期純利益	212,701	300,946

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

売上及び受注の状況

## 売上状況

期別 セグメント別	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)		前事業年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
橋梁	6,109	79.5	6,080	79.4	12,542	80.6
鉄構	1,575	20.5	1,580	20.6	3,021	19.4
計	7,685	100.0	7,660	100.0	15,563	100.0

## 受注状況

期別 セグメント別	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)		前事業年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
橋梁	4,653	77.6	9,951	94.4	12,806	66.1
鉄構	1,343	22.4	595	5.6	6,577	33.9
計	5,996	100.0	10,547	100.0	19,384	100.0

## 受注残高

期別 セグメント別	前第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)		当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)		前事業年度 (平成29年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
橋梁	15,283	86.7	20,876	80.2	17,004	73.5
鉄構	2,341	13.3	5,145	19.8	6,129	26.5
計	17,624	100.0	26,021	100.0	23,134	100.0